



内 容

学期	題材名	学習活動・指導のねらい	
1 学 期	4	オリエンテーション	・音楽の授業の目標、内容、評価、授業の約束などを知る。
	5	○歌声あわせて	・友達と共に歌い合わせる喜びを味わい、音楽を愛好する心情を養う。
	6	○オペラの魅力	・他の芸術との関わりや様々な音色による豊かな表現を感じ取る。
	7	○混声合唱の響き	・発音や発声についての技能を伸ばし、歌唱表現の能力を高める。
2 学 期	9	○混声合唱の響き	・混声合唱の響きを楽しみ、合唱表現の能力を育てる。
	10	○多声的な響きと和声的な響き	・混声合唱をより深く楽しむために、楽曲を練り上げていく。
	11	○アルトリコーダー	・主旋律と他の旋律、旋律と和声の関わりを感じ取る。
	12	○日本の音楽（歌唱）	・曲想を感じ取り、曲想にふさわしい音色やフレーズの表現を工夫する。
3 学 期	1	○日本の音楽（箏）	・我が国の伝統音楽の特徴を知り、五線譜では示すことのできない独特の音色や響きの味わいを感じ取る。
	2	○心を込めた合唱	・卒業生への感謝の気持ちを込めて合唱すると共に、最上級生になる意欲や意識を持たせる。
	3		・1年間を振り返り、音楽の授業で学んだ事を再確認する。

歌唱 1年生の歌唱活動をさらに発展させ、混声合唱を深めて行く授業が中心になります。第2学年では、変声期を終えた生徒の割合が多く、混声合唱をするにあたって魅力のある演奏ができてきます。しかし、声の質の部分では変化が見られない事が多いので、意識を高めさせていくことが大切です。また、言葉と旋律、和声の特徴を生かした歌唱表現の工夫を重点に授業を進めます。

鑑賞 第2学年では、和声的や多声的な音楽を鑑賞します。音楽とその背景となる文化や歴史などとかかわらせて聴くことができるとより楽しいものになります。

< 評価の観点 >

- ① 音楽への関心・意欲・態度・・・音楽に親しみ、音楽を進んで表現し鑑賞しようとする。
 - ・授業に意欲的に参加していますか（授業態度など）
 - ・曲の特徴に関心を持ちましたか（授業態度、発表など）
 - ・歌うことに興味を持ち、進んで合唱していますか（授業態度など）
- ② 音楽的な感受性・表現の工夫・・・音や音楽のよさや美しさを感じ取り、それらを音楽活動の中で創意工夫し、生かすことができる。
 - ・歌詞をよく読み、言葉の内容を理解していますか。（実技）
 - ・言葉の表現に気をつけて歌うことができますか。（実技、授業の活動）
 - ・速度、強弱の働きによる曲想の変化を表現できますか（実技）
- ③ 表現の技能・・・音楽を表現するための基礎的な技能を身に付いている。
 - ・旋律、リズムを正しく歌うことができますか。（実技、授業の活動）
 - ・曲にふさわしい速度や強弱をつけて演奏するすることができますか。
 - ・腹式呼吸と美しい発声が身に付いていますか。
- ④ 鑑賞の能力・・・音楽を楽しく聴取、鑑賞し、そのよさや美しさを味わう。
 - ・作曲者の時代背景を考えることができる。（鑑賞プリント）
 - ・速度や強弱の働きによる曲想の変化を感じ取ることができますか。（鑑賞プリント）
 - ・どのような楽器で演奏されたか、聴き取ることができましたか。（テスト）
 - ・曲全体のイメージを感じて聴くことができましたか。（鑑賞プリント）



< 評価の方法 >

- ・毎時間の授業への取組、表現の工夫・努力、鑑賞プリント、実技テストや定期テストなどを基にして総合的に評価する。授業中の学習活動を通じた観察を大切にします。

授業中

- ① 授業の準備をしっかりする。合唱活動、鑑賞に進んで取り組む。授業の約束を守る。
- ② 目的と意欲をもって授業に臨む。学ぶべきところを学び、高めるところ、磨くところに積極的に取り組む。
- ③ 音と音とのかかわりを感じながら、聴き合って取り組む。



- ◎ 音楽は、人の心を表現したり、人と人との心をつないだりすることができるものです。一人一人が自分なりの表情をつけて、楽しく歌えるようになるとうれしいものです。